

平成 31 年度 考古博物館企画展事業概要

タイトル 企画展『(仮)東京外かく環状道路の遺跡』

開催期間 平成 31 年 7 月 6 日 (土) ～ 9 月 8 日 (日)

会場 市川歴史博物館 2 階・特別展示室 (展示面積 160 m²)
〒272-0837 千葉県市川市堀之内 2-26-1 TEL 047(373)6351

趣旨 東京外かく環状道路の建設工事に先行しておこなわれた発掘調査の出土品一堂に集めて展示します。特に、日本最古の丸木舟で話題になった雷下遺跡をはじめ、国史跡の堀之内貝塚に隣接する道免き谷津遺跡、国史跡となった北下遺跡などの貴重な出土品を通して、市川の歴史をわかりやすく紹介します。

展示資料

遺跡名	おもな展示資料
稲荷作遺跡	須恵器 3 点・小玉 4 点
小塚山遺跡	弥生土器 3 点
国分下台遺跡	縄文土器 3 点
道免き谷津遺跡	櫛状木製品 1 点・漆器 3 点・木製耳飾り 1 点・縄文土器 20 点・土偶 1 点・土版 1 点・石器 30 点・ <u>弥生土器 1 点</u> ・ <u>木製農具 2 点</u>
雷下遺跡	<u>丸木舟 1 点</u> ・ <u>貝層断面剥ぎ取り 1 点</u> ・ <u>カゴ状編み組製品 1 点</u> ・ <u>骨角器 5 点</u> ・ <u>動物遺体 50 点</u> ・ <u>木の実 1 点</u> ・ <u>人骨 10 点</u> ・ <u>縄文土器 20 点</u> ・ <u>石器 30 点</u>
北下遺跡	瓦窯関係遺物 20 点・祭祀関係遺物 20 点・鋳型破片 5 点・梵鐘破片 5 点・縄文土器(製塩土器)破片 30 点
後通遺跡	漆塗り髪飾り 1 点・井戸枠 1 点・瓦 5 点・墨書土器 20 点・近世土製品 10 点
菅野遺跡	土器片土錘 2 点
平田遺跡	埴輪破片 10 点

※二重下線の遺物は、平成 30 年 8 月時点で千葉県教育振興財団保管。

印刷物 ; ①ポスター B 2 判 1,000 枚

②チラシ A 4 判 8,000 枚

②関連図書 『(仮)東京外かく環状道路の遺跡』 A 4 判 1,000 部

関連行事 1. 講演会 7 月 13 日(土)13:30～16:30 『市川から発信する新たな縄文文化』

講師 小林 達雄名誉教授・千葉県教育振興財団職員

場所 全日警ホール

2. ギャラリートーク

7 月 7 日・7 月 21 日・8 月 4 日・8 月 18 日・9 月 1 日計 5 回予定

問い合わせ 市立市川考古博物館 (担当学芸員 領塚正浩・山路直充)

〒272-0837 市川市堀之内 2-26-1 TEL 047(373)2202

市川市立博物館 平成29年度事業実施状況に対する外部評価

評価基準 A：参加者数、内容、参加者満足度すべてに見込みを上回る成果を得ることができた。（目標の90%以上）
 B：ほぼ見込みどおりの結果を得た。（目標の80～75%程度）
 C：改善の余地があるものと考えられる。（目標の60%程度）
 D：今後の計画に際しては、実施を含めて検討する必要があると思われる。（目標の50%に満たない）

事業種別	館名	館別意見（概略）	館別自己評価	総合自己評価	外部意見等	外部評価
収集・保管及び調査研究	考古	市史編さん事業と連動した形で市内における自然貝塚の調査を進め、見込み通りの成果があった。また、史跡管理策定事業と連動して、遺跡の全体図作成に着手したが、曾谷貝塚の報告書は作成できなかった。	B	B	○昨年度に引き続き、収蔵資料やスライドフィルムのデジタル化が進行しなかったことを理由に、自然博物館の自己評価が「C」となっているが、課題解決（人材確保）に向けて、検討すべきではないか。 ○データベース化について、アウトプットするように整理していくと、予算も確保できるのではないかと。本来であれば博物館に来なければ見られないものを、手軽にみられるようにできれば、博物館の運営機能にも変化がみられると思う。	B
	歴史	借用資料整理や寄贈図書の整理登録は年間を通して実施することができたが、市内学校所蔵資料調査は、耐震強度不足の影響により一部の学校しかできなかった。	B			B
	自然	収蔵資料やスライドフィルムのデジタル化が進行しなかった。また、各種研究会についても参加が困難であった。	C			C
展示	考古	常設展示室をLEDに交換したことにより、見やすい展示になった。また、ホール小展示や速報展においてテーマを決めての展示を行った。	B	B	特にありませんでした。	B
	歴史	企画展「浮世絵の世界と市川『利根川東岸式覧を中心に』」や企画展「発見体験昔の暮らし」・「季節の展示」を実施し、展示の充実を図った。	B			B
	自然	ホール小展示では、飼育展示や化石の展示を中心に実施した。また、展示解説については、来館者の動向に合わせて対応した。	B			B
市民向けの教育普及	考古	博物館講座や講演会は、ほぼ見込み通りの結果を得ることができた。また、博物館フェスティバルについても概ね好評であった。	B	B	○学芸員の退職に対し、非常勤職員の補てんという形で対応しているようだが、学芸員という仕事は、一年・二年で育成されるものではない。長期的な見通しをたてて、取り組んでいく必要があるのではないかと。	B
	歴史	博物館講座や季節の行事体験等については、受講者や参加者の増加により成果を上げることができた。	B			B
	自然	自然観察会、野草名札付け、大町自然観察園環境整備等は例年実施している行事であり実績は安定している。	B			B
学校関連の教育普及	考古	学校巡回展・出前授業や小学生向け体験学習は学校からの申込みも多く好評であった。また、教員を対象した博物館利用研修会を受け入れ、好評であった。	B	B	○考古博物館の「学校巡回展・出前授業」において開催する学校担当教員の関心度等に差が生じないように校長会等で周知してほしい。 ○学区と関連のない資料は児童の関心がひきにくいので、地域に関連した資料の展示ができないか。 ○学校からの要望に対し、職員の努力（週休日の振替等）で補っている状況にあるようだが、働き方改革が求められている中、芳しくない状況にあるように思う。	B
	歴史	小学生向け体験学習については、多くの学校が満足しており好評であった。また、社会科副読本「わたしたちの市川」の制作協力を行った。	B			B
	自然	出前授業や小学生向け自然体験学習等は、例年通り実施した。また、教員研修会への支援も行った。	B			B
地域連携の教育普及	考古	博物館友の会主催の見学会や公民館講座を実施し好評であった。	B	B	特にありませんでした。	B
	歴史	博物館友の会事業への協力や公民館講座への講師派遣、また、市民団体や地元民俗行事への協力を例年通り行った。	B			B
	自然	公民館や市民団体等の講座講師依頼や出張展示・展示解説及び出張体験指導の依頼に対し適切に対応した。	B			B
運営	考古	「考古・歴史博物館だより」を年4回発行し、事業内容をアピールした。	B	B	○施設維持・管理について、東京外郭自動車道の開通にあわせ、博物館の使命も大きく変わってくるように思う。中長期的な計画を持って取り組んでほしい。	B
	歴史	「考古・歴史博物館だより」を年4回発行し、博物館事業を理解してもらう手立ての一つとなった。	B			B
	自然	「自然博物館だより」や自然博物館行事案内を発行し、事業内容をアピールした。	B			B

平成31年度 考古博物館 事業計画

事業種別	事業名	予定日及び見込み数	
収集・保管及び 調査研究	1. 収蔵資料の調査、整理	1,000点/年	
	2. 市内出土資料調査	年間を通して実施	
	3. 博物館資料のパソコン管理（図書管理・住所管理）	1,000件/年	
	4. 各種研究会への参加、各地博物館の視察	随時	
	5. 下総国分寺報告書作成	年間を通して実施	
	6. 文化財担当関係調査	年間を通して実施	
	7. 市史編纂関係調査（曾谷貝塚・下総国府）	年間を通して実施	
展示	1. 常設展及び北国分駅構内展示	年間を通して実施	
	2. 企画展「外環自動車道の遺跡（仮称）」	7/6(土)～9/8(日)	
	3. 企画展事前周知の巡回展	5～6月	
	4. ホール小展示「指で組む」（30年度館務実習展示）	～6/9(日)	
	5. ホール小展示「宝相華文」（31年度館務実習展示）	8/10(土)～	
	6. 速報展「外環道の遺跡(第8回雷下遺跡)」	～9/8(日)	
	7. 巡回展「土器のあなにはなにがある」	9～12月	
	8. 展示解説（考古博物館ガイドツアー）	土・日曜日ほか	
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の 学びと体験を支える事業	1. 企画展関連講演会	7/13(土)
	2. 考古博物館講座『日本霊異記』を読む	10回/年 第2水曜日	
	3. 考古博物館講座『続日本紀』を読む	10回/年 第4水曜日	
	4. 火おこし・縄文学習・組紐指導員の養成講座ならびに活動支援	土・日曜日ほか	
	5. 土器・勾玉・クテ打ち組紐づくり	4・5月、7・8月、11・12月	
	6. 夏休みスタンプラリー	7～9月	
	7. サマーフェスタ	8/17(土)	
	8. オータムフェスタ	11/3(日)	
	9. 縄文体験フェスティバル（第20回）	3/22(日)	
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを 支援する事業	◎学校関連	
	1. 学校巡回展、出前授業	申し込みにより実施	
	2. 小学生向け体験学習指導	4・5月	
	3. 中学生職場体験指導	申し込みにより実施	
	4. 高校生ボランティア活動指導	7～8月	
	5. 大学学芸員課程館務実習指導	6/14、7/30～8/9	
	6. 千葉商科大学出張展示	年間を通して実施	
	7. 学生調べ学習指導	年間を通して実施	
	◎教員関連		
1. 市立小中学校教員研修会	調整中		
2. 社会科副読本「わたしたちの市川」制作協力	継続中		
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニ ティをサポートする事業	1. 博物館友の会事業協力	依頼により実施
	2. 公民館講座（社会教育課）	依頼により実施	
	3. 少年自然の家チャレンジ・スクール火おこし指導（青少年育成課）	11/4(月)	
	4. 地域まつり（自治会等）	依頼により実施	
	5. 市内公共施設出張展示（各所管課）	依頼により実施	
	6. 市内公共施設出張展示ギャラリートーク（各所管課）	依頼により実施	
	7. 外部依頼講座（他自治体及び市民団体）	依頼により実施	
運営	1. 平成30年度考古博物館館報（第47号）発行	3月、800部	
	2. 「考古・歴史博物館だより」発行	季刊、4回/年	
	3. 平成31年度考古・歴史博物館行事案内発行	4月	
	4. 博物館協議会事務局事務	2回/年	
	5. 施設の維持管理	年間を通して実施	
	6. 施設整備（休館）	2/18(火)～21	

平成31年度 歴史博物館 事業計画

事業種別	事業名	予定日及び見込み数	
収集・保管及び 調査研究	1. 収蔵資料の調査、整理及びデータベース化	500点/年	
	2. 市内公共施設所蔵資料調査	年間を通して実施	
	3. 博物館資料のパソコン管理（図書管理・住所管理）	1,000件/年	
	4. 各種研究会への参加、各地博物館の視察	回/年	
	5. 文化財担当関係調査	依頼により実施	
	6. 市史編纂関係調査	年間を通して実施	
展示	1. 常設展		
	2. ホール小展示「季節の展示」	未定	
	3. 郷土史コーナー展示「31年度館務実習展示」	9/7(土)～	
	4. 企画展「発見・体験昔の暮らし」	11/3(日祝)～2月中旬	
	5. 展示解説（歴史博物館ヒストリーツアー）	依頼により実施	
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の 学びと体験を支える事業	1. 歴史博物館講座「明治時代の大柏地域の文書を読む」	11回/年(土)
		2. 歴史博物館講座「近代史講座2、市川船橋戦争等」	7/27(土)、3/15(日)
		3. 歴史博物館講座「民俗学講座」	4回/年(6, 7, 9, 10)月(土・日)
		4. 歴史博物館講座「中世古文書講座(初心者向け)」	3回/年(9, 10)月
		5. 歴史カレッジ	4月・8月を除く第2土曜日
		6. 歴史カレッジ公開講演会	11/2(土)・メディアパーク
		7. 体験学習指導員定例研修会	1回/月（主に第4土曜日）
		8. 昔の遊び体験	毎週 土・日曜日
		9. 洗濯体験	7/28(日)
		10. 歴史地図づくり	7月下旬、8月上旬
		11. サマーフェスタ（竹の水鉄砲作り他）	8/17(土)
		12. 正月飾り作り	12/8(日)
		13. 縄文体験フェスティバル	3/22(日)
		14. 和綴じ本作り	未定
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを 支援する事業	◎学校関連	
		1. 学校巡回展、出前授業	申し込みにより実施
		2. 小学生向け体験学習指導	9～2月
		3. 中学生職場体験指導	申し込みにより実施
		4. 大学学芸員課程館務実習指導	8/23(金)、8/30(金)～9/6(金)
		5. 学生調べ学習指導	年間を通して実施
		◎教員関連	
		1. 市立小中学校教員研修会	調整中
		2. 社会科副読本「わたしたちの市川」制作協力	継続中
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニ ティをサポートする事業	1. 博物館友の会事業協力	毎日
		2. 公民館講座（社会教育課）	依頼により実施
		3. 地域まつり（自治会等）	依頼により実施
		4. 市内公共施設出張展示（各所管課）	依頼により実施
		5. 市内公共施設出張展示ギャラリートーク（各所管課）	依頼により実施
		6. 外部依頼講座（他自治体及び市民団体）	依頼により実施
運営		1. 平成30年度歴史博物館館報発行	3月、800部
		2. 「考古・歴史博物館だより」発行	季刊、4回/年
		3. 平成31年度考古・歴史博物館行事案内発行	4月
		4. 博物館協議会事務局事務	2回/年
		5. 施設の維持管理	毎日
		6. 施設整備（休館）	2/18(火)～21(金)

平成31年度 自然博物館 事業計画

事業種別	事業名	予定日及び見込み数	
収集・調査研究 保管及び	1. 収蔵資料の調査・整理	随時 (ボランティアも含む)	
	2. 博物館資料の専用パソコン管理	随時	
	3. 各種研究会への参加、関連施設の視察	4回/年	
	4. トビハゼ調査	2回/年	
	5. ヒヌマイトトンボ調査	7月	
	6. 長田谷津再整備検証 (生物多様性いちかわ戦略)	随時	
	7. 剥製制作委託	3月	
展示	1. 常設展 (市川の自然)	305日開館	
	2. 特別展示室の常時活用 (飼育展示など)	305日開館	
	3. ホール小展示 (飼育展示など)	305日開館	
	4. 自然観察園のみどころの掲示	毎月適宜	
市民向けの教育普及	生涯学習拠点として市民の学びと体験を支える事業	1. おやこ自然観察会	5回
		2. 季節を感じる散策会	5回
		3. 長田谷津散策会	12回
		4. 長田谷津ボランティア 野草名札付け	9回
		5. 長田谷津ボランティア 自然観察園環境整備	10回
学校関連の教育普及	子どもの成長や学びを支える事業	◎学校関連	
		1. 出張授業	依頼により実施
		2. 小学生向け自然観察学習指導 (グリーンスクールも含む)	依頼により実施
		3. 中学生職場体験指導	依頼により実施
		4. 高校生向け自然観察学習指導	依頼により実施
		5. 大学学芸員課程館務実習指導	8/2~14
		◎教員関連	
1. 市立小中学校教員研修会	依頼により実施		
地域連携の教育普及	地域の文化やコミュニティをサポートする事業	1. 公民館講座 (社会教育課)	依頼により実施
		2. 大町レクリエーションゾーン「秋のフェスティバル」「初夢フェスティバル」 (動植物園主催事業にイベント協力)	10月、1月
		3. ホタル観賞会期間の開館時間延長	7~8月 延べ8日
		4. 外部依頼講座 (他自治体及び市民団体)	依頼により実施
運営	1. 平成30年度自然博物館年報 (No.30) 発行	500部 3月	
	2. 「市川自然博物館だより」発行	1,750部/6回 (隔月)	
	3. 2020年度自然博物館行事案内の発行	1,500部 3月	
	4. 施設の維持管理	毎日	
	5. 飼育展示 生きもの管理	毎日	